

多様化する世界と グローバル経済危機

—開発途上国の諸課題と国際社会の役割

Diversified World and Global Economic Crisis:
Challenges to Developing Countries and Roles of the International Community

神戸大学
経済経営研究所(RIEB)
国際協力研究科(GSICS)



共催 JICA 研究所
後援 六甲台後援会

日時：2009年7月13日（月）15：30～17：30

会場：神戸大学六甲台キャンパス

フロンティア館3階 プレゼンテーションホール

Presentation Hall, 3rd floor Frontier Building, Rokkodai Campus

言語：英語／日本語（同時通訳付き） English/Japanese
translation available



協力：(株) サイマル・インターナショナル

基調講演 Keynote Speeches

■リンダ・ヴァン・ゲルダー Linda Van Gelder
(世界銀行 / World Bank)

世界経済危機の多様な影響と今後の見通し
Diversified Impacts and Prospects of the Global Economic Crisis

■日野 博之 Hiroyuki Hino
(神戸大学経済経営研究所特命教授・JICA 派遣ケニア共和国首相府経済アドバイザー
RIEB-Kobe University & Economic Advisor to the Prime Minister of Kenya)

経済危機と開発途上国：アフリカにおける課題
Economic Crisis and Developing Countries: Issues and Challenges in Africa

パネルディスカッション Panel Discussion

■グスタフ・ラニス(イェール大学名誉教授)
Gustav Ranis, Yale University

■フランシス・スチュワート(オックスフォード大学教授)
Frances Stewart, University of Oxford

■恒川恵市(JICA研究所長)
Keiichi Tsunekawa, JICA Research Institute

■高橋基樹(神戸大学国際協力研究科教授・モデレーター)
Motoki Takahashi, GSICS-Kobe University
— Moderator

シンポジウムのねらい

「リーマン・ショック」を契機とする欧米の金融危機はグローバルな経済危機へと発展し、その影響は先進国やアジアなど新興国のみならず、アフリカなどの後発途上国に対しても様々な影響を与えています。とりわけ後発途上国では、危機前の資源価格高騰によって高成長を遂げた資源国と経済活動・行政サービスが深刻に悪化した非資源国の両方が存在し、今回の危機の影響も異なると考えられます。グローバル経済危機は、先進国・新興国、そして後発途上国にどのような影響を及ぼしたのか。また国際社会はその多様性を踏まえてどう対応す

べきか。本シンポジウムでは、世界銀行のL.ヴァン・ゲルダー氏、日野博之ケニア共和国首相府経済アドバイザー(神戸大学特命教授)をはじめとして、国内外の第一線の実務家・研究者を迎え、経済危機の多様な影響と今後の見通し、とりわけ後発途上国に突きつけられている喫緊の課題、国際社会の役割などについて意見を交わします。



参加申し込み＆問い合わせ Reserve your seat today!

電子メールでinfo@kobe-u-llc.co.jpに件名に「シンポジウム」、本文に参加希望者の名前と所属(または一般と記入)を明記して申し込んでください。(定員100名、無料。空席がある場合当日入場も受け付けます。)

このシンポジウムについてのお問い合わせは、神戸大学経済経営研究所(電話078-803-7060)へ。

